

産業技術総合研究所  
平成 27 年度 研究評価委員会（エレクトロニクス・製造領域）  
議事要旨

1. 日時：平成 28 年 2 月 2 日（火）10:00～18:00
2. 場所：産業技術総合研究所 つくばセンター 中央第 1 事業所 ネットワーク会議室
3. 議事
  - (1) 開会挨拶
  - (2) 委員紹介・資料説明
  - (3) 領域による説明（質疑含む）（議事進行：前川 禎通 評価委員長）
  - (4) 総合討論・評価委員討議・講評（議事進行：前川 禎通 評価委員長）
  - (5) 閉会挨拶

4. 議事概要

(1) エレクトロニクス・製造領域の説明と質疑応答

資料 4～6 に基づき、1. 領域の概要、2. 「橋渡し」のための研究開発、3. 「橋渡し」のための関連業務、について説明が行われ、それぞれについて質疑応答が行われた。1. 領域の概要、では領域全体の概要・戦略・研究開発の概要について説明が行われ、マーケティング、人材育成、研究ユニット間の連携、民間企業と産総研における研究のあり方の相違点、等について質疑応答が行われた。2. 「橋渡し」のための研究開発、では、(1) 「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）、(2) 「橋渡し」研究前期における研究開発、(3) 「橋渡し」研究後期における研究開発、の 3 項目について説明が行われ、(1) 「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）では、具体的な研究開発成果として、主に「新機能スピントロニクス素子」及び「Web of Manufacturing」について説明が行われ、成果の達成度に関して質疑応答が行われた。(2) 「橋渡し」研究前期における研究開発では、具体的な研究開発成果として、主に「光情報技術」、「ネットワーク MEMS」及び「フレキシブル印刷製造技術」について説明が行われ、テーマ設定の適切性、産総研ベンチャーの戦略、成果の達成度、等について質疑応答が行われた。(3) 「橋渡し」研究後期における研究開発では、具体的な研究開発成果として、主に「ミニマルファブ」及び「先進コーティング技術」について説明が行われ、民間資金獲得額の目標設定の妥当性、等について質疑応答が行われた。3. 「橋渡し」のための関連業務では、技術的指導助言等の取組状況、マーケティングの取組状況、大学や他の研究機関との連携状況、業務横断的な取組、について説明が行われ、マーケティングから研究

へのフィードバック、人材育成、ダイバーシティ、等について質疑応答が行われた。

(2) 総合討論

研究マネジメントを含めたエレクトロニクス・製造領域の研究活動全般について総合討論が行われた。

(3) 評価委員討議

今回の評価に関して、評価委員による討議が行われた。

(4) 講評

評価委員長はじめ評価委員よりエレクトロニクス・製造領域に対する講評が行われた。

5. 評価委員（敬称略、順不同）

前川 禎通 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター  
センター長、東北大学名誉教授（評価委員長）

神永 晋 SK グローバルアドバイザーズ株式会社 代表取締役、  
住友精密工業株式会社 前社長

久保 佳実 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 ナノ材料科学環境拠点  
運営総括室 室長

小浦 節子 千葉工業大学 工学部 生命環境科学科 教授

渡辺 美代子 国立研究開発法人 科学技術振興機構 副理事

6. 配布資料

資料 1：議事次第

資料 2：出席予定者

資料 3：座席表

資料 4：評価資料（その 1）主要な経年データ

資料 5：評価資料（その 2）主な業務実績等

資料 6：評価資料（その 3）説明資料

別添資料 1：平成 27 年度計画（抜粋）

別添資料 2：評価項目及び評価方法

別添資料 3：産総研評価情報システム利用ガイド（評価委員のみ）

別添資料 4：評価コメント記入用紙（評価委員のみ）